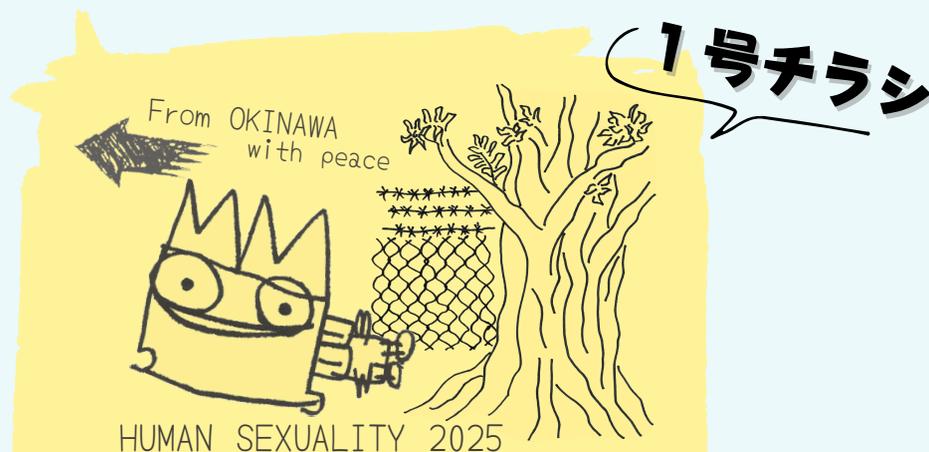


一般社団法人“人間と性”教育研究協議会（性教協）主催

第44回全国夏期セミナー沖縄大会



いま沖縄で考えよう！ 平和をつくるための包括的性教育

日程 2025年8月2日(土) 3日(日)

会場

沖縄県男女共同参画センターていりる（1日目）

（〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1 TEL 098-866-9090）

沖縄県市町村自治会館（2日目）

（〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37 TEL 098-862-8181）

ハイブリッド形式（現地会場参加とZoom配信）

【ロゴコンセプト】米軍、自衛隊などの軍事化をはじめとする様々な問題が山積する沖縄。ガジュマルに住む妖精「きじむな〜」が、沖縄から平和とともに、包括的性教育を全国・全世界へと発信する大会をイメージしています。

2025年の夏期セミナーは、44回目にして初めて沖縄で開催します。オンライン参加もいいですが、できればこの機に、対面参加をして平和と包括的性教育の重要性を学び合ひましょう。

沖縄は、一般的には癒しの南国リゾートとしてのイメージが強いです。しかし、かの大戦で、住民を巻き込んだ悲惨な地上戦を経験し、死者総数約20万人、うち県住民は約12万人（4人に1人）が犠牲になり、戦争孤児など身寄りのない者が急増し、困窮をもたらしました。

戦後も1972年の「本土復帰」まで米統治下におかれ、本土では減少した米軍基地が7割も集中して、米兵と米軍属による性暴力加害など凶悪事件や事故が続発しています。

そして、今、国際情勢の不安に乗じた日米共同の大軍拡路線は「新しい戦前」と憂慮されています。その中で、沖縄を含む南西諸島は、「台湾有事」の軍事要塞化されつつあり、再びの戦災不安にさらされています。

包括的性教育は、からだの権利、個人の尊厳として「性的自己決定権」を尊重しています。それは平和な環境でこそ保障されます。いまこそ戦争ではなく「平和の準備」のとき、沖縄で平和の途を拓く性教育を共に学びましょう。みなさまの参加をお待ちしております。

参加費

	2日間	1日のみ
一般	6,500円	3,500円
全国会員	5,500円	3,000円
学生 ユース（30歳未満の方）	一般：1,500円 全国会員：1,000円	一般：1,500円 全国会員：1,000円
中高生	500円	500円
障がい者	会員・一般：1,500円	会員・一般：1,000円

※台風等によって完全オンライン開催に変更する可能性があります。

変更の判断は7月30日(水)までにします。

なお、飛行機代やホテル代のキャンセル料については自己負担となります。

あらかじめツアーキャンセル保険等をお調べいただくことをおすすめします。

夏期セミナー実行委員長 : 杉田真衣（性教協幹事）
 現地実行委員長 : 嘉陽真美（沖縄性教協）
 副実行委員長 : 青野真澄（性教協幹事）・関口久志（性教協幹事）
 現地事務局長 : 船越裕輝（沖縄性教協）

8月2日(土) 沖縄県男女共同参画センターていりる /Zoom配信

時間	内容
11:00	受付開始
11:45~12:00 開会挨拶	夏期セミナー実行委員長 杉田 真衣
12:00~12:30 基調報告	関口 久志（性教協幹事・夏期セミナー副実行委員長）
12:30~14:00 記念講演	<p>齊加 尚代 さん テーマ 性教育バッシングが始まりだった！ 愛国と教育危機のつながりを沖縄から考える</p> <p>【プロフィール】1987年毎日放送入社。報道記者などを経てドキュメンタリー番組『映像』シリーズを多数制作、定年退社で2025年2月からフリーに。企画・担当した主な番組に『映像'17沖縄 さまよう木霊—基地反対運動の素顔』（2017年1月、平成29年民間放送連盟賞テレビ報道部門優秀賞ほか）『映像'17教育と愛国—教科書でいま何が起きているのか』（2017年7月、第55回ギャラクシー賞テレビ部門大賞ほか）。同作品に追加取材、再構成して2022年に公開した映画『教育と愛国』は日本ジャーナリスト会議（JCJ）大賞を受賞。他に個人として「放送ウーマン賞2018」、日本外国特派員協会「報道の自由賞」（2023年）を受賞。著書『教育と愛国—誰が教室を窒息させるのか』（岩波書店）、『何が記者を殺すのか 大阪発ドキュメンタリーの現場から』（集英社新書）。</p> 

<p>14:15~15:45 理論講座</p>	<p>テーマ 沖縄の地に足をつけて 包括的性教育を展望する ～平和の探求、人権の尊重、社会運動の創造を考える～</p> <p>日本のなかの沖縄をめぐる戦後政治は一貫して“沖縄の透明化”政策が続いてきました。沖縄の歴史と現実が私たちに問いかけていることを踏まえて、①平和をつくる包括的性教育の課題とは何か、②人権をベースにした性教育実践のあり方とは何かを探究し、③そのうえでどのような研究運動のあり方が問われているのか、具体的な性教育の課題を提起してみたいと考えています。性教協のみなさんがこれまで各地で培ってきた実践的研究の蓄積を共有するとともに、これからの性教育実践の展望を考えてみたいと思います。包括的性教育はチャレンジし続ける教育実践であることに私自身が挑戦いたします。</p> <p>浅井 春夫 さん（性教協代表幹事・立教大学名誉教授）</p>
<p>16:00~17:30 シンポジウム</p>	<p>テーマ 包括的性教育の保障において —人権と平和の現在地から</p> <p>2023年12月に沖縄県中部で米空軍兵による16歳未満の少女に対する性的暴行事件が起きました。それが翌年6月になって発覚し、12月の判決公判で懲役5年の実刑判決となりました。高里鈴代さんら基地・軍隊を許さない行動する女たちの会によって作成された『沖縄・米兵による女性への性犯罪（1945年4月～2021年12月）第13版』をみると、性犯罪が繰り返されてきたことがわかります。高里さんは沖縄の性暴力問題に長く取り組んでこられました。安里さんは27年にわたって沖縄の障がい児教育に関わるなか、性教育に取り組んでおられます。ここでは人権と平和の現在地をみつめ、包括的性教育の保障のために何ができるのか、語り合いたいと思います。</p> <p>スピーカー 高里鈴代さん（「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」共同代表・元「強姦救援センター・沖縄」代表） 安里瑞穂さん（沖縄性教協・障害児・者サークル・特別支援学校教員）</p> <p>コーディネーター 良 香織さん（性教協幹事・宇都宮大学教員）</p>
<p>18:00~19:00</p>	<p>模擬授業・分科会打ち合わせ</p>

8月3日(日) 沖縄県市町村自治会館／Zoom配信

時間	内容
9:30~10:00	受付開始
10:00~12:45	模擬授業・分科会①
12:45~13:45	休憩
13:45~16:30	模擬授業・分科会②
16:45~17:15	閉会行事 ・2日間のまとめ 実行委員会から ・2026年「第45回全国夏期セミナー長野大会」実行委員会から

※講演内容や時刻等は、2025年1月段階のもので、予告なく変更の可能性があります。
最終確定の講演内容や時刻は、本要項やホームページでご確認ください。

8月4日(月) オプショナルツアー ★30名先着順

※参加申し込み開始は、本要項ができる4月末を予定しております。



お問い合わせ先

一般社団法人“人間と性”教育研究協議会（性教協）本部・事務局

〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目7番16号 初台ハイツ1006号
TEL 03-3379-7556 FAX 03-3379-7561 メール：jimu@seikyokyo.org



電話は火・木曜日の13時～16時に受け付けています。
お急ぎの場合はFAX、メールでご用件をお伝えください。

性教協HP→

Facebookはこちら→ @Seikyokyo

X(旧Twitter)はこちら→ @Seikyokyo_Web

◎性教協（せいきょうきょう）って？

1982年に創立された一般社団法人“人間と性”教育研究協議会（性教協）は、「科学・人権・自立・共生」の4つのキーワードをもとに、子どもの切実な要求にこたえ、正確な情報を伝え、子どもと共に「性」のあり方や生き方を考えて、たくさんの性教育実践を積み重ねてきた民間研究団体です。

会員は、教員をはじめとした学校関係者、助産師・医師・看護師・保健師などの医療関係者、児童養護施設職員などの福祉関係者、NPO関係者、研究者、学生など多彩です。

学校・地域・家庭での性教育実践を創造し交流するとともに、自分自身の性と生のあり方を問い直し、形成することができる場となっています。日本で唯一の性教育専門誌『季刊セクシュアリティ』（発行：エイデル研究所）を編集しています。

◎全国夏期セミナーって？

日本で最大規模の性教育の研修会です。全国各地から持ちよった実践を積み重ねています。最新の正確な情報や現場のリアルな声に触れることもできます。全国から集まる性教育に関心のある参加者となることができるのも魅力です。性教育初心者や学生の方の参加も歓迎します。性教協会員でなくても参加できます。2日間通してではなく、1日のみや午後からなど、部分参加も可能です。

季刊セクシュアリティ

人間と性をめぐる教育と文化の総合情報誌
企画編集：「人間と性」教育研究協議会

SEXUALITY



最新119号 (2025年1月号) 特集 いま、「家族」の意味を問う

【論考】在日朝鮮人にとっての家族と祭祀—李 杏理／ハンセン病問題と家族—西浦直子／非行という視点から見た家族とその支援—北村篤司／【実践にむけて】『国際セクシュアリティ教育ガイドンス』にみる家族—良 香織／中学校家庭科の教科書で「家族・家庭生活」はどのように扱われているか—笈 敏子／【インタビュー】福祉からみた学校と家族のいま—草持 好&高橋陽子／【コラム】絵本でまなぶ家族—良 香織／【実践】明治時代の「家族」について取り上げた2つの授業—小林優香 ほか

定価 1,650円(税込)

新刊絵本



定価 1,870円(税込)

「きもち」からはじめる性教育／

あっ! そうなんだ! わたしのきもち

著者：文 徳永桂子／絵 勝部真規子

自分のきもち、相手のきもちを
考えるしかけ絵本!

いろんなきもちを見つけてみよう。



定価 1,980円(税込)

子どもと一緒に
ふれあい、たのしむ、からだうた。／

絵本 からだうた

日暮かをる ぶん／中島優子 え

旧・七生養護学校の実践が、絵本に
なって戻ってきました!

読んで楽しい絵本パートと、やり方が
わかる解説パートの2部構成。

エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9

TEL. 03-3234-4641 FAX. 03-3234-4644 <http://www.eidell.co.jp>